

2011. 4 vol. 98

改訂版 vol. 28

# 女性委員会だより

らくだ 

社団法人 岐阜県建築士会 〒500-8076 岐阜市司町1番地岐  
総合庁舎3階〈電話〉(058) 266-5786 〈FAX〉(058) 266-6867

## はじめに

副委員長 宇佐美 泉

皆さん、こんにちは。

4月に入り、入学・入社等新しい旅立ちの季節を迎えました。

しかし、先月の東日本大震災では、多くの方々が被害に遭われ、今も厳しい避難生活を送っておられます。

被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。又、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りいたします。

今なお続く震災の報道を目の当たりにしますと、私に何ができるのだろうかかと自問し、気分が落ちこみます。

でも一方で、私たちが元気を出し頑張って仕事をし、日本経済を動かしていけば、それが被災地の復興に繋がると言われます。

わかってはいるのですが、中々気持ちがそうなりませんね。少々時間はかかりますが、私たちも元気で明るく委員会活動をしていけたらと思っています。

皆さん、元気を出していきましょう！



## 今回の記事

- はじめに
- 今後の予定・お知らせ
- 見学会「郷邸迎賓館」  
平成22年9月3日(金)
- 第30回 建築文化講演会  
平成22年9月18日(土)
- 第53回建築士会全国大会 佐賀大会  
平成22年10月22日(金)
- 郡上建物調査  
平成22年12月3日(金)
- 建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会  
平成22年度後期定例会議 高山大会  
平成23年2月26日(土)～27日(日)
- 第10回らくだ会 in 郡上  
平成23年3月17日(木)
- 編集後記



## 今後の予定 ・ お知らせ

- ◆ 岐阜県建築士会 総会  
日時:平成23年5月
- ◆ 東海北陸ブロック会 前期 富山大会  
日時:平成23年6月25日(土)
- ◆ 建築士の日  
日時:平成23年7月16日(土)～17日(日)



委員会だより



## 見学会 「郷邸迎賓館」報告

日時:平成22年9月3日(金)

会場:(株)郷鉄工所内 郷邸迎賓館

岐阜県不破郡垂井町表佐58-2

電話0584-22-1122

参加者:24名



### 宇佐美 泉

9月3日(金)猛暑の中、委員会のメンバーをはじめ岐阜県教育委員会の館 龍午氏や石川県・愛知県の女性委員会の方・インテリアコーディネーター協会の方々等の出席を頂き、約30名で盛況に開催することができました。

始めに、郷邸の概要を少し書かせていただきます。  
(資料:郷邸現代数寄屋住宅より)

所在地: 不破郡垂井町表佐 株式会社 郷鉄工所内  
用途: 専用住宅(当時の経営者の住宅で、現在は使われていません)

構造: 木造一部RC造 2階建て

設計: 安藤 金左工門氏(大工の棟梁)

施工: 同上

竣工: 昭和46年3月

とにかく大工仕事はどこをとってもすばらしく、材料も今では入手不可能な物ばかりでただただ感心の連続でした。

和室の柱(木曾桧柱)・床柱(京都栗・本桑柱)長押・天井・欄間(朱漆仕上げ)等言うに及ばず、洋室(食堂・応接室)に至っても素晴らしかったです。特に食堂の天井竿が杉柱丸けずり60φ@360で、それが東側にある5間の縁側まで続いており、当時材木を納められた材木

店の店主の方が、「今では、これだけのものは揃わないでしょう。」と言っておられたのが印象的でした。

2階の和室では、床の間(和室8帖)と次の間(和室6帖)の天井板が、春日杉柵の4間(24尺)通しの一枚板目すき貼りであったのが圧巻でした。主人寝室の壁は、龍村 美術織物の布クロス貼りだったり、から紙や手すき和紙は京都唐長。ふすまの引き手はツイシュ(推漆・伝統工芸品)や七宝焼きだったり、細部においても超一流の技と材料でしつらえてあったのには、ただただ感心してしまいました。

とてもすばらしい大工仕事と材料で造られたこの住宅が、これからもずっと維持保存して頂けることを願って、郷邸をあとにしました。



(郷邸担当の矢野氏より説明を受けながらの見学の様子。)



(見学後、参加者の交流会)

委員会だより



## 第30回 建築文化講演会

日 時:平成22年9月18日(土) 14:00開演  
会 場:ぎふ未来会館  
女性委員参加者:6名  
講演会入場者:160余名  
講師:伊礼智氏  
テーマ:「設計の標準化、スタンダードアプローチを解く」



(受付の様子)



「講演の様子」



(講師の伊礼氏にお礼のあいさつをする、青年委員長と女性副委員長)

### ■ 建築文化講演会に参加して

松村 久美子

設計の標準化と聞くと建築人は「標準化?」と首をか  
しげそうです。

しかし、自動車や工業製品ではクオリティーや安全性を  
高めるため当たり前に行われている。と始まりお話に引  
き込まれていきました。

建築設計の標準化とは

- ・完成度が高く、アベレージの高い仕事になる。
- ・仕事のスピードアップ、クレームの減少にもなる。
- ・創造性の退化ではなくそれをベースに新たな挑戦を可  
能とする。
- ・設計者の作風を創り上げる。
- ・設計をより確かなものにしていく手法。

設計や仕事の仕方を改善していくことと考えている。

穏やかな口調で話されましたが、なかなか職人気質な  
のではないかと思います。

そして設計とクライアントを大切にされていることが伝わ  
る講演会でした。

### ■ 懇親会に参加して

宇佐美 泉

講演会后、岐阜市神田町にある「南風亭」において、  
先生を囲んで懇親会がありました。藤井会長・横井副会  
長をはじめ青年委員会の方々が集まり、とても和気あい  
あいと話しがはずみました。

仕事の進め方や、事務所の従業員の人数や給料等、  
普通は中々お話しして頂けないことも、誠実にお答え頂き  
ました。東京と地方では、色々な面で違いがあるんだな  
あと思いました。

又、青年委員の方々ともしっくり話をする事ができ、相  
互の考え方の違いや共通点、これからの課題等、普段  
顔は合わすけれど中々話をする事もできなかったので、  
これはいい機会だったと思いました。

委員会だより



## 第53回 建築士会全国大会

### 佐賀大会

日時:平成22年10月22日(金)  
会場:佐賀市文化会館、佐賀県総合体育館  
参加者:2名



(中津川支部の皆さんと会場玄関前で集合写真)

### ■全国大会 佐賀大会に参加して

長瀬 八州余

10月22日(金)23日(土)と一泊二日で佐賀大会に、女性委員2名で参加しました。

朝7時半の新幹線で、佐賀駅には11時35分に着きました。

博多から佐賀までは特急かもめに乗りましたが、黒色の革張りのシートで車内もシックな感じで、かもめを図案化したマークがついていました。

佐賀までなら日帰りができる距離なのだと思います。

佐賀駅から会場まで、今までの大会だとシャトルバスが出ているので、それに乗るために、駅に待機している士会の人にシャトルバスの乗り場は何処ですかと聞いたところ、シャトルバスは無く会場まで歩きということでした。約15分で着くという説明とともに地図をもらい、会場に向かいます。

一応一本道でしたが、途中会場案内の看板も無く、一抹の不安を抱きながら歩きます。

15分過ぎても会場らしき建物は見えてこず、通行中の

人に尋ねました。

20分以上かかり 会場に着きました。

受付を済ませて、お弁当を受け取り、会場内でいただきます。



(お弁当の写真)

中央軒のお弁当で、1913年日本で最初に駅弁として販売し、現在に至っています。内容は、かしわめし、焼麦(しゃおまい)、うみたけのかす漬(うみたけは有明海で採れる特産魚貝類)カリプロのピクルス(カリフラワーとブロッコリーを合わせた様な食材であることからカリプロの愛称で親しまれている)等で、量も多く美味しかったです。

女性委員として「クイズ 知ってるつもり」に参加しなくてはということで、「建築士」5月号の全国大会のお知らせには13時からということだったので、ぱっちり参加できるとしていました。

ところが受付でいただいたプログラムで、会場等を確認しようと見たら、「クイズ知ってるつもり」は11:00~11:50と書いてあります。

もうすでに終わってしまっています。

すごいショックです。

会場で石川県の女性委員の人たちにもお会いしたのですが、変更になっていたことはご存じなくて、私たちと同じでした。

15時半から始まる式典まで、会場の見学をしました。交流プラザ(旧屋台村)にていろいろ見て回ります。

佐賀県伊万里市支部女性委員会の活動で畳の縁で名刺入れ等を作って活動資金にしているブースがありました。

## 委員会だより



(伊万里支部のブース)



まちづくり交流プラザ内にて全国女性建築士連絡協議会のパネル展がおこなわれ、7月の全建女でのポスターセッションで展示されて各県のポスターが展示されていました。

佐賀県女性委員会おもてなしコーナーでハーブティーと地元のお菓子の接待がありました。ハーブティーは美味しかったです。



式典は例年通り進み来年は大阪大会です。有田皿踊りにて式典オープニングで始まりました。今回の参加者は3,500名との紹介がありました。

懇親会場は佐賀市中心市街地白山アーケード街ということで会場からシャトルバスで移動です。

岐阜支部、中津川支部、青年委員会の人たちと一緒に交流しました。



(懇親会場)

くらすぼの珍味やムツゴロウの佃煮とか長崎チャンポン、神崎そうめん等の佐賀県の名物が出ていました。美味しかったです。



(くらすぼ)

(くらすぼは乾燥させたのち、あぶるか、揚げるかしていただくのですが、今では数が少なくなってなかなか食べることができない食材だということでした。)

懇親会場からは各自勝手に帰るということでした。歩いて駅まで行きます。ホテルは駅前だったので良かったです。

会場が比較的近い場所に集まっているので、移動手段が歩きですんでいるでしょう。

1日目は無事にすみしました。

## ■ 地域交流見学会

平成22年10月23日(土)

コース「小城・多久」

星巖寺の楼門と五百羅漢、九州の小京都小城と多久探訪

### 【見学順番】

JR佐賀駅バスセンター

小城公園

星巖寺(五百羅漢)

村岡総本舗(羊羹資料館)

天山酒造

委員会だより

昼食

くど造り民家

孔子の里(多久聖廟)

JR佐賀駅バスセンター

当日は士会の方々に本当にお世話になりありがとうございました。また、後日コース担当の支部より写真集のCDが送られてきました。

全国大会の良い記念になり、本当にありがとうございました。



(孔子の里(多久聖廟)にて集合写真)

## ☆ 全国大会・地域交流見学会に参加して

宇佐美 泉

大会2日目、この日もとても暖かく汗ばむ程の好天に恵まれました。

私たちは、地域交流見学会(I)コースに参加しました。全国の会員の方が13名と、佐賀建築士会の方3名での見学会となりました。

このコースは、小城(おぎ)市と多久(たく)市の名所旧跡を廻るコースで、朝JR佐賀駅をバスで出発し、佐賀インターナショナルバルーンフェスタの会場になる嘉瀬川を渡り西へ・・・。

小城市に入り、桜上館・小城公園に到着しました。桜城館は、図書館を併設した歴史資料館で一通り小城市の歴史を学びました。



(桜上館内での見学の様子)

ここは九州の小京都とも呼ばれ、二代目藩主鍋島直能氏が納め栄えた町で、次にその鍋島家の菩提寺である星巖寺(五百羅漢)に行きました。

そのお寺の門(楼門)は、江戸中期の建物で、外壁はなまこ壁・漆喰塗の日本建築にもかかわらず中国の様式を取り入れた門です。そこを潜り抜けると、さまざま表情をした羅漢像が並んでいました。五百羅漢と言われていますが実際は二百羅漢だそうです、見ているとほのぼのとした気持ちになってきました。



(五百羅漢見学)

それから小城市の北端にある天山の麓、天山酒造に行きました。明治蔵・大正蔵・昭和蔵が一体となった建物で、建物見学もそこに銘酒「天山」の試飲・・・。さっぱりと、辛口はきりっとしたお酒で、かの坂本龍馬も好んで飲んだとか。あまり飲めない私でもこれなら大丈夫、天山の豊かな自然と傍を流れる祇園川の清水で育まれるお酒だとお聞きし納得して酒造を後にしました。(お土産に辛口「天山」を買いました)

委員会だより



(天山酒造内部を見学)

次に訪れたのは、小城と言えは有名な「小城羊羹」羊羹の村岡総本舗へ。小城羊羹の特徴は、私たちがいつも食べる羊羹の外回りに砂糖をまぶした、少し固めの羊羹とでもいいでしょうか・・・ここでもおいしい羊羹を頂きました。(お土産に羊羹を買いました)



(岡村総本舗店舗)

そして昼食。お昼ごはんは清水川の畔の鯉料理のお店へ・・・直径 60 cm 位の大皿に、鯉のあらいが並べられてきたのにはびっくり！すごい量！長瀬さんと二人で頑張って食べました。とってもおいしかったです。満足・・・。清水川の水は全国名水百選に選ばれた水で、その水で育てられた鯉ということをお聞きして 納得しました。



(鯉の洗い)



(近くの滝)

午後からは小城市を後にし、更に西へ向かい多久市に入りました。最初に佐賀県の代表的な民家である「くど造り民家」を見学に行きました。くど造りとは、屋根の棟が「コ」の字に廻り、くど(かまど)の形をしているところからそう呼ばれているそうです。18 世紀前半の建物で、木造平屋建て、20 坪前後の小じんまりとした民家です。川打家と森家の2軒が移設展示されていて、それぞれ国の重要文化財・市の重要文化財に指定されています。この建物を有料で貸し出して おられるそうで、色々なイベント・会合にも使用できるとお聞きし、その寛容さに感心しました。

委員会だより



(くど造りの建物)

最後に訪れたのは、孔子の里・多久聖廟です。多久聖廟は、日本三大孔子廟の一つで、多久4代領主多久茂文氏が1708年に建立された建物です。世界最古の木造建築物で、唐様に似せようと想像で造られた純日本建築だそうです。



(孔子の里・多久聖廟)

その見学の前に、多久聖廟の恒例行事の時にいつも行われる舞を見せて頂きました。地元の小中高生が引き継いでやっていて、中国の楽器の演奏にあわせて「稲葉の舞」と「獅子舞」を私たちの為に特別に見せて頂き、そのおもてなしに感動しました。



(子供達の獅子舞)

領主の多久茂文氏は、「貧乏だが、学問豊かに」という考えのもと、教育を振興しその心を育むためにこの聖廟を建てられたとのこと、素晴らしい領主だったんだと感心しました。

見学を終えて、佐賀建築士会の皆さんには、常に3人の方が私たちと行動を共にして頂き、行く先々では10名位の士会の方々が迎えてくださり、見学会を円滑に又充実したものにして頂いたこと大変感謝します。佐賀県建築士会の皆さん、ありがとうございました。とても中身の濃い見学会でした。

 **郡上建物調査**

日時:平成22年12月3日(金)  
会場:郡上市内  
参加者:8名

日程:八幡城  
町並み散策  
昼食 レストランテ雀の庵



委員会だより

道の駅 古今伝授の里やまと  
古今伝授の里 フィールドミュージアム



(お城の前で集合写真)

## ●「郡上建物調査」報告

伊藤 麻子

今回、高山からは3人が集まり、岡上さん、岩野さん、和田さん、伊藤の4人で郡上行きとなりました。岐阜方面では、河内さん、下川さん、中津川支部の長瀬さん、そして、今回のコーディネーターである高野さん、と総勢8人での、建物調査となりました。

まずは、八幡城で歴史のお勉強です。高速道路から見えるお城は、屹立とした山の頂部にあって、いつも、見るたびにはっとさせられます。中腹で車を停めて、後は徒歩で登ったのですが、見た印象通り急峻な道を登りつめての到着でした。



(急峻な山道)

永禄2年(1559年)築城  
昭和8年(1933年)再建とあり、木造再建城としては、日本最古だそうです。  
ここからでた有名人といえば、山内一豊の妻、千代ですね。

顔はめ看板などあり、千代の名言集を読んで日頃の反省をし、また、美しい景色に歓声をあげたりと、楽しみ

ました。



次は、町中散策です。

雨の中、郡上特産の食品サンプルや肉桂玉のお店をのぞきながら、古くからの町並みを見学しました。

道路の舗装にも工夫があつて、整備されている感じでした。



(郡上八幡市内の建物)

委員会だより



続いて、フィールドミュージアム見学(翌日の結婚式の準備中でしたが、施設の説明をしてくださいました)



(駐車場より全景を見る、正面建物はレストラン棟)



(有名な宗祇水周りの様子)



(散策の様子、茅葺きの建物は篠脇山荘)

お楽しみの昼食は、旧家を改装した、有名なレストランでおいしい美濃古地鶏をいただきながら、たっぷりおしゃべりしました。(ブロック会議の打合せも)



(お昼をいただいたレストラン入り口)(室内の様子)



(篠脇山荘内部、結婚式の準備中)

あとは、古今伝授の里の道の駅で足湯(ここでもおしゃべり)

高山からは車で1時間、川があって、町があって、山があり、そこにお城(跡)がある、雪が多いことは、同じなのに、違う文化、意識が感じられました。

雨がひとしきり降った後、晴れ間が見えたと思ったら、こんどはあられと雷、という天気でしたが、盛沢山のコースで、大変充実した1日でした。

高野さん、どうもお疲れ様でした。



(足湯)

さらに、私にとって何より良かったのは、高山の仲間と一緒に参加できたことです。

これを機会に、私たちの活動がもっと広がり、意義を持つようすすんでいきたいと思ひます。

委員会だより



## 建築士会東海北陸ブロック会

### 女性建築士連絡協議会

### 平成22年度後期定例会議 高山大会



(開会式にて岐阜県女性委員長が開会の言葉)

日時:平成23年2月26日(土)～27日(日)

26日(土) 高山グリーンホテル  
(〒506-0031 高山市西之一色町2-180  
電話 0577-33-5500)

12:30 開会式  
13:15 分科会  
15:55 女性建築士協議会、  
18:45 懇親会  
21:00 二次会

27日(日) 飛騨地域地場産業振興センター5階  
(〒506-0025 高山市天満町5丁目1番地25.  
電話 0577-35-0370)

10:00 閉会式  
11:00 高山の街歩き

会全体の参加者:216名

### ■ はじめに

#### 女性委員長 飯沼 あい子

建築士会東海北陸ブロック会 青年建築士協議会・女性建築士協議会平成22年度ブロック高山大会が2月26日・27日にわたって高山市において開催されました。

女性委員の皆様には、準備段階から関わっていただきましてありがとうございました。お陰様で、各県よりお礼・ねぎらいの言葉をいただきました。本当にお疲れ様でした。今後共どうぞよろしく願いいたします。

### ■ 初めて高山でブロック会をおこなって

#### 飛騨支部 女性委員 井之口 洋子

建築士会には少し前から入会していましたが、ただ入っているだけで活動というものは何もせずにはいました。それが今回は高山でブロック会議だからと同じ飛騨で活躍中の伊藤麻子さんに声を掛けてもらい参加したのがすべての始まりでした。

最初は女性委員が何をすることもよく分からず、とにかく呼ばれたらついていだけでした。地元で開催といっても、何とも不甲斐なかったのではないのでしょうか。終わってみるといかに岐阜の方々が入念な準備をされていたのかが分かりました。それがなければ、高山で開催する事は到底出来なかったと思います。本当にありがとうございました。

会場などを決めるにしても、何回も岐阜の方々が視察にいらして疑問点を一つ一つなくしていつている姿が印象的でした。

そして迎えた当日、高山はこの時期はまだ寒く雪が降ることも多いのですが天候に恵まれました。観光地ということもあるのか200名以上の参加者があるとのことで驚きました。

開会式から始まり、分科会もそれぞれの会場で無事に行われたようでした。夜の懇親会ではすごく盛り上がり、進行のお手伝いも無事に終わりホッとしました。

同じ職業の人々がこんなに揃う機会は私としては初めてでした。懇親会では沢山の地域の方とざっくばらんにお話しが出来て楽しいひとときでした。

二次会は岐阜メンバーの部屋に集まってもらい、昼間の女性建築士協議会で話し終わらなかった議題を飛騨のお酒と漬物、お菓子と共に話し合い、盛り上がりました。

一口に女性といっても様々な活動をしておられることが分かり、すごく心強く思いました。女性というものを特別視するのではなく、女性だからこそ出来ることがある

委員会だより

という話をしてくださる方がいて、体験から来る言葉には重みがありました。

こんなに沢山の建築士の方が自分の仕事に真摯に向き合っている姿を一般の方にはあまり知られていないような気がします。建築士会の活動がもっと身近に感じられるようになると良いなあと感じました。

次の日の市内見学会にはたくさんの女性委員の方が参加してくださり、一般の観光客とは違う視点で町並みを見てもらえました。高山市の取り組みなどを紹介できて良かったと思います。

夜中には地震が来て驚きましたが、けが人はなく無事に大会が終わったのを嬉しく思いました。今回の開催に当たって、岐阜の女性委員の方々、青年委員の方々、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

## ■ 高山大会に参加して

長瀬 八州余

今回のブロック会は開催県であると同時にブロック事業発表県でもあり、少ない人数でいろいろと準備をおこなわなくてはならず、一人何役も受け持ち忙しかったです。

しかし、高山での開催となったので、高山の人たちと連携ができ、仲間が増えたことは喜ばしいことでした。

26日当日は早朝高速道路で事故があり、一部の人が交通規制に引っかかり到着が心配されましたが、少し予定より遅れて到着しただけで、大事にはならずよかったです。

小さい手違い等はありませんでしたが、どうにか無事に一日目を終えることができました。

夜中2時と5時頃地震がありました。(余震も何回かあったようです。)ニュースによると高山市は震度4でした。女性委員の中にはご家族から安否の電話があった人がいたり、ご自宅へ電話した人がいたりしたようです。私たちの泊まったホテルは無事でしたが、青年が宿泊したホテルの一部は水漏れ等の被害があり大変な朝を迎えたということでした。

2日目は10時から閉会式でそれまで自由行動でした。朝市へ行ってきました。



(陣屋前の朝市)



(宮川の朝市)

閉会式では次回後期開催県の三重県があいさつをされました。



いろいろと楽しい催しを考えていらっしゃるようで、楽しみです。

最後に岐阜県のあいさつです。



高速道路で事故があったり、あまり地震の無い高山で地震に遭ったりと外ではいろいろとありましたが、無事に会を終えることができよかったです。参加された皆様は楽しんでいただけたでしょうか。関係者の皆様、お疲れ様でした。

## ■ 懇親会の報告

津川 文江

高山グリーンホテルの天山の間で 懇親会が行われました。会場に入ると、高山ラーメンの屋台や みたらし団子の屋台など 開催市高山らしい食べ物が目の中に入ってきました。

## 委員会だより

まず、開会の言葉に始まり、河内さんによる乾杯では、酒の席では祝い歌「めでた」が披露されるまでは、自席を離れてはいけないうきあたりがあるとのお知らせの後乾杯となりました。

その後 舞台では飛騨支部の方々が登場され 飛騨支部長の脇本氏の祝い歌「めでた」の歌のあと 飛騨支部の皆さんの合唱があり飛騨の趣きがありました。

アトラクションの最高の盛り上がりは、青年委員長の伊縫氏と前青年委員長の松井氏の女装と青年委員たちのAKBの歌と踊り牛乳早飲み競争、3人名前の文字でおもしろい文章に様!!にするゲーム とても面白かったです。青年委員の皆さんご苦労様!!

美味しい食事でお腹いっぱいになりました。とても楽しい懇親会でした。



(陣屋太鼓の実演)



(高山の会員さんによる「めでた」の披露)

## 二次会

懇親会が終わってから 二次会を和室にて、お菓子と飲み物(ビールも含む)で行いました。

10時を過ぎていたので、皆さんお疲れモードで 目をこすっている人もいましたが、時間が経つのも忘れてしまい 12時過ぎまで他県との交流ができてとてもよかったです。



(楽しい二次会の様子)

## ■ 女性建築士協議会 報告

飯沼 あい子

今回は開催県ということで、準備にほとんどの労力を使っていたので会議内容については事前に予習ができておりませんでした。

当然いつものようにスムーズに進行するものと思っておりましたら、今後のブロック発表県と開催県との係わりのところで留まってしまいました。

それぞれの県によって体制等の事情が異なることもあって、難しいところもあり今後に向けて調整が必要であろうと思いました。

## ■ 分科会 報告

第1分科会: 一位一刀彫り体験(ブロック協議会)

第2分科会: おんさい岐阜(女性協議会)

第3分科会: 高山・祭屋台技術保存

(岐阜県青年委員会)

## ☆ 第1分科会

### 一位一刀彫り体験に参加して

下川 綾子

今回初めて東海北陸ブロック高山大会に参加させていただきました。

第一分科会では、一位の木を用いてペーパーナイフを作りました。

委員会だより

まず、飛騨一位一刀彫協同組合の職人さんに一位の木の特徴や一刀彫についてのお話を聞きました。

一位一刀彫は一位の木目や色合いをそのまま生かして仕上げるもので、今回のペーパーナイフも、年輪の外側にある白太という白みがかっている部分を富士山の装飾部分に生かしたものでした。

工程としては、ある程度ナイフの形に木取りされているものを彫刻刃で形を整えた後、紙やすりで仕上げるという作業です。

職人の方だと10分程度で出来るということでしたが、彫刻刃の扱い方が難しく、なかなか思うような形にするのに苦労しました。

仕上げの段階では、皆さん個性あふれる建築士の方というだけあって、好きな模様や文字を入れて自己流アレンジされていました。私も、自分の名前と雪の結晶の模様を入れた作品を作りました。

今回、飛騨の匠の技を職人の方から直接教えていただき大変貴重な体験ができました。



(作業の様子)



(できあがった作品)

## ☆ 第2分科会

おんさい岐阜(誰にもやさしいまちづくり)

松村 久美子

### 第一部

講演会「高山市 誰にもやさしいまちづくり」

講師：高山市基盤整備部 都市整備課

課長 浦谷公平氏

### 第二部

事例発表：おんさい岐阜 岐阜県女性委員会

### 第三部

高山市ユニバーサルデザインの取り組み事例の紹介と  
見学

見学先：高山グリーンホテル ユニバーサルルーム

分科会会場：高山グリーンホテル 鳳凰の間

高山市の「安全・安心・快適なバリアフリーのまちづくり」の取り組みについて具体的な事例からご講演頂きました。

バリアをなくすことが新たなバリアを生み出すなどの課題も紹介され、改めてバリアフリーとは？を考える機会になりました。

事例発表ではユニバーサルデザインや子育て支援の視点で見学会を兼ねた岐阜県の活動を発表し、岐阜県各地の建物を紹介しました。



(パワーポイントを使って岐阜県女性委員による事例紹介の様子)

## ☆ 第3分科会

高山・祭屋台技術保存

伊藤 麻子

年に2度行われる高山祭りに引き出される祭屋台について

第1部 講演

第2部 高山祭屋台会館、屋台蔵見学

講師は、高山市郷土館 学芸員の田中 晃氏でした。

委員会だより

田中氏は郷土の歴史や事象に大変詳しく、市民の勉強会などにも講師として活躍されている方です。

以前仲間と、古い味噌屋さんへ見学に伺ったとき、「田中さんが時々うちへ遊びにいらっしゃる。」と聞いて、氏がいかに普段から昔からのものと深く関りあっているかと、驚いてしまったことがあります。



(講演の様子)

講義は歴史と特徴のほか、町中の人々が生活の中で、重要文化財を守り、伝えていくことの苦勞が語られました。

このあと、バスに乗り屋台会館へ移動し、実物を見学しました。

祭りのときだと、人が多すぎてあまりゆっくり見たことがありませんでしたが、高い位置からも眺められ、新鮮に感じました。



(屋台会館での見学風景)

上三之町の屋台蔵も特別に開けて見せてもらえました。重い蔵戸が開いたときはどよめきが起こりました。

観光スポットの中心で数十人がかたまってみ学をしていたので、そのあたりは一時的に祭りの時のように大混雑でした。



(上三之町の屋台蔵の内部)

屋台蔵の修復工事はいくつか経験しましたが、同じように見えてもそれぞれ違った作りになっていて、いつも新しい発見があったことを思い出しました。

他県の人の質問にあまり良く答えられずに、歯がゆい思いをしましたので、もっとよく地元のことを勉強しようと思決意した分科会でした。

## ■ 高山市街歩き

宇佐美 泉

ブロック会 2 日目、閉会式終了後、他県の女性委員の皆さんと街歩きをしました。

深夜と早朝に、やや強い地震に見舞われ、少々寝不足の体を押して、昨日の分科会で発表をした所を見て廻ります。

あいにく、いっしょに街歩きをしていただけるはずだった高山市職員の浦谷公平氏は、その地震の為にご参加頂けなくなり、急きょ高山在住の大塚氏が案内をしてくださいました。

まず始めに、JR高山駅前で皆さんと記念写真を撮り、駅バスセンターにあるトイレを見学、最新の設備を備えた多目的トイレでした。



## 委員会だより

(集合写真)



(バスセンターのトイレ前にて)

次に、融雪道路の歩道(側溝のグレーチングの巾が通常より狭く、杖やヒールが入りこまない様に工夫・・・なるほど・・・)を歩いて初期にできた公衆トイレを見ました。ここを基準に色々と改善されて、それからの多目的トイレが造られたそうです。



(グレーチングの詳細)



(段差のない道路)

次に向かったのが、安川交番横の多目的トイレです。高山の町家建築に合わせた外観でした。(街中は、公衆トイレがやたら多いです)

それから高山と言えば有名な、吉島家と日下部民芸館です。その前を通って、古い街並みを歩きました。出格子が連なり、軒下には水が流れてとても風情がありました。



(右手側が吉島家と日下部民芸館です)

ひと通り街歩きをして、「まちひとぶら座かんかこかん」の前で解散となりました。



(まちひとぶら座かんかこかんの前にて)

今回の街歩きは事前に見ていたもので、一つ一つが納得できて、とても良かったのではないかと思います。

天気も何とかもってくれて(少々寒かったです)、予定通り街歩きができ安心しました。又、2日間が滞りなく終わり、ほっとして帰路に着きました。皆さんお疲れさまでした。

## ■ 追加の報告



26日 昼食のお弁当

右上の豆のようなものはナツメの実の煮た物です。

高山では普通の総菜だそうです。甘くて美味しかったです。

## ■ 一言感想



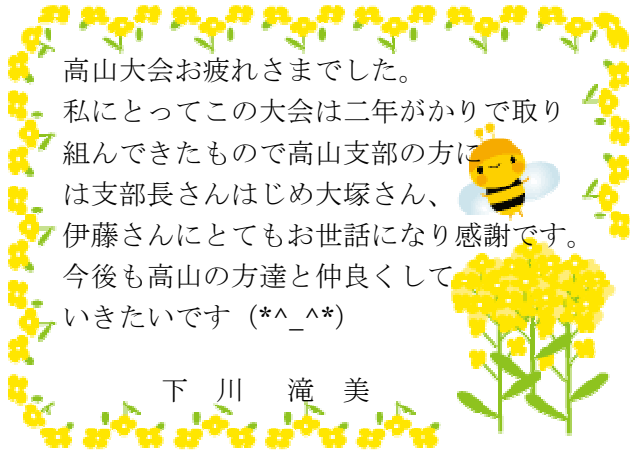
## 委員会だより

初めて参加させていただきましたが、皆様の活動に触れ大変刺激を受けました。このような機会をいただけて感謝しています。

和田 梢



(古今伝授の里 フィールドミュージアム「和歌文学館」にて)



高山大会お疲れさまでした。  
私にとってこの大会は二年がかりで取り組んできたもので高山支部の方には支部長さんをはじめ大塚さん、伊藤さんにとってもお世話になり感謝です。今後も高山の方達と仲良くしていきたいです (\*^\_^\*)

下川 滝美

## ■ 第10回 らくだ会 in 郡上に参加して

高野栄子

今回の委員会とらくだ会は趣向を変えて郡上市で行いました。高山の委員の方も、岐阜との中間と言うことで参加しやすいかと思いました。

12月の建物調査の際は、薄曇りで時々小雨も降って寒かったのですが、今回は天気もよく快適に街歩きを堪能できました。

郡上市八幡町の博覧館という施設で観光案内を受けました。博覧館は旧税務署の建物をリフォームした建物で郡上の歴史や文化がわかり、一年中郡上踊りの実演と解説を行っています。

今の時期は、旧暦のひな祭りに合わせて500体以上の土雛が飾られていました。他にも市内にあちらこちらにおひな様が飾られて散策の目を楽しませてくれました。

昼食は委員会を兼ねて、郡上市大和町のレストランももちどりでいただきました。こんなところに、フランス料理がと思うような場所ですが、景色もお店の雰囲気も味もとても満足できるものでした。地鶏を使ったメインはもとより、前菜もスープもデザートもとてもおいしくいただきました。そこで、高山支部の方3名の委員会入会の上承と、来年度の事業計画などを話し合いました。

## 第10回 らくだ会 in 郡上

日時:平成23年3月17日(木)

場所:郡上市内 街歩き

古今伝授の里 フィールドミュージアム

フランス料理「レストランももちどり」

(郡上市大和町牧912-1)

参加者:8名



(「レストランももちどり」にて会食の様子)

委員会だより



(郡上八幡博覧館正面)



(郡上市内でのひな祭りの展示見学)



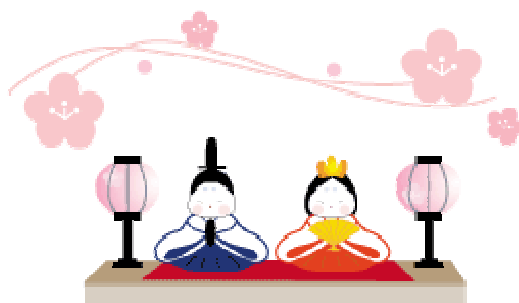
(郡上八幡博覧館内のおひな様の展示)



(会食でのデザート、イチゴとココナッツのシャーベットカンサジュレです。)



(郡上八幡博覧館内での郡上踊り実演の様子)



■古今伝授の里

フィールドミュージアムを見学して

長瀬 八州余

前回、12月の郡上での建物調査は、フィールドミュージアムでは時間が少なく、ほんの一部しか見学することができませんでした。今回再度見学をする機会を持つことができたことは良かったです。

広い敷地に建物が点在しています。  
食事を済ませて、まず最初に和歌文学館へ向かいます。

## 委員会だより

視覚的に楽しめる回廊型の展示館になっています。説明によりますと「古今伝授は広義の歌道伝授の場であることから、現代の歌道伝授の場として建設された」ということです。明るく開放的な館内では、柿本人麻呂から齊藤茂吉まで各時代を代表とする歌人を通して、文学通史を紹介しています。高さ 2.4m、長さ 36m に描かれた古今和歌集絵巻は、古今集の部立に沿って代表歌を絵巻で紹介されていました。



(和歌文学館内部)

次に篠脇山荘です。前回来た時もここは外観が目をつけたので、見学をしました。日本唯一の鉄骨茅葺トップライト付き家屋です。風情ある石垣や竹林にかこまれた総ガラス張りの室内からは、手前の水面に映る篠脇山が望めます。利用がない時は一般開放されています。

敷地は起伏があり、いろいろな連絡道があり、自分の好きに歩き回ることができます。

東氏記念館へ向かいます。中世、古今集研究の第一人者であった東常縁。その東家史料、古文書類、東氏館跡の膨大な出土品、古今伝授史料、江戸期までの著名歌人の短冊や歌人天皇の宸翰和歌などが展示されています。この説明で、この地が「古今伝授の里」といわれている事の理由を知ることができました。

東海北陸ブロック会 後期 高山大会のご苦労さん会を兼ねた「気楽にらくだ会」でしたので、少ない人数での参加となりましたが、中身は濃い交流ができたのではないかと思います。



(東氏記念館正面玄関)

## 編集後記

28号をお届けします。  
平成22年度の後期分の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。  
また、編集参加問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

社)岐阜県建築士会

岐阜市司町1番地 岐阜総合庁舎3階

TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

(HP アドレスが平成22年4月より新しくなりました)

E メールアドレス [kensi578@juno.ocn.ne.jp](mailto:kensi578@juno.ocn.ne.jp)

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します

